

もしものときに地下水利用で安心を



「天神ビジネスセンター」へ 井水浄水装置を納入しました

令和3年9月30日、福岡の中心部「天神」に最新設備を備えたオフィスビル「天神ビジネスセンター」が誕生しました。当ビルは、福岡地所株式会社（福岡市中央区天神）が開発を進めたオフィスビルで、福岡市が主導する天神ビッグバン[※]の「規制緩和第1号」であり、最先端の感染症対策を装備したオフィスビルです。航空法の規制緩和を受け、地上19階、高さ約89メートル、延床面積は約6万1千平方メートル。福岡で従来に



ない大規模免震構造を採用し、法定の1.5倍の耐震性能を実現。また、災害時のライフライン寸断に備え、72時間対応の二元燃料（デュアルフューエル）ガスタービン発電機が設置されており、非常時においても当社の井水浄水装置が稼働し、逆浸透膜を用いた浄水処理により飲料水及び雑用水の確保ができるBCP対応の高機能オフィスビルです。災害が日本各地で頻発している昨今、ライフラインの寸断も相次いでおり、特にガスや水道は、配管が地中に埋設されているため、復旧に多くの時間がかかります。公共水道の断水時にも、自己水源（井水）があれば事業継続の可能性が高まることから、有効な災害対策として国土強靱化年次計画でも利用が推進されるなど、国策としても注目されています。もしもの時の備えとして当社の井水浄水装置を多くのお客様に採用頂いていますので、当社に与えられた役割、責任を果たすべく、事業に邁進して参ります。



※天神ビッグバン

規制緩和などを活用して民間ビルの建替えを促進することで、天神地区に新たな空間と雇用を創出するプロジェクト。国家戦略特区を活用した航空法高さ制限の特例承認を獲得した機を逃すことなく、様々な施策を組み合わせて、耐震性が高く、ウィズコロナ、ポストコロナにも対応した先進的なビルへの建替えを促進し、より国際競争力が高く、安全安心で、環境にも配慮した魅力的なまちづくりに取り組むもの。なお、天神ビッグバン開始後、ビッグバンエリア（天神交差点から半径約500m）の現時点での竣工棟数は、天神ビジネスセンターを含め43棟となっている。

翼覆姫胞

President Column
会長の
ひとりごと



【よくふうく】
愛すること。親が子を、政治家が人民、男が女を慈しみ愛すること。親鳥が雛や「姫胞」は暖めて育てること。親鳥が雛や卵を翼で覆って、暖めて育てることになたえた言葉

（出典：四字熟語辞典オンライン）

人と人との関わりが、否応（いやおう）なしに薄らいでいく世の中ですね。家族や恋人、友人、仕事仲間：思うように会うことすら叶いづら。そんななかで、孤独感や喪失感に苛まれる心を病んでしまふ人が後を絶ちません。愛する人たちと心通わせ合うという当たり前のことができないのですから、ある意味当然なのかもしれません。

では、どうすれば心満たされる毎日を送ることができると思いますか？その鍵は「愛することへの感謝」です。相互の交流がしづらいのであれば、愛する人たちの出会い、存在を有り難いと思ってみてください。愛の見返りを求めない。だって、そこまで愛そうと思える人なんてそうそう出会えるものではなく、与えることができることに感謝するだけで幸せなのです。ほら、少し心が温かくなったでしょう？

SUBARU健康保険組合

太田記念病院

事務部 施設課長

指出理至様



導入の目的通り、災害時の水の安定確保とコスト削減につながっています。

御社の概要・沿革等についてお聞かせください。
群馬県太田市にある病院で、病床数404床（一般354床・ICU/CCU12床・NICU6床・HCU10床 健診18床、感染病床4床）、職員数977名の病院です。太田記念病院は、戦争の災禍にあった太田市及び近郊の人々のため、医療奉仕を旗印に昭和21年に富士重工業健康保険組合総合太田病院として開設し平成24年新築移転し、名称もSUBARU健康保険組合太田記念病院と変更しました。

プラント導入の経緯をお聞かせください。

災害拠点病院指定要件として、災害時の水の3日分の確保が義務づけられました。当院も指定要件に対応するため、井水プラントの検討が始まりました。当院は飲料水に関しては3日分の確保ができていましたが、透析用水を含めた水となると確保ができていないため、井水ろ過プラントを整備する事で対応する事にしました。

他社ではなく弊社を選定いただいた理由は何かでしょうか。

当初は他社のプラントの導入を検討していましたが、プラントの性能やトータルコスト等、他社と比較検討を行い、その中で機器の性能と経済メリットが他社よりも優れていた事が選定のポイントでした。なによりも、ゼオライトの方は皆水に関しての知識が豊富で安心感みないものを感じました。

導入後の効果・感想はいかがですか。

導入の目的通り、災害時の水の安定確保とコスト削減につながっています。また井水プラントの状態は、院内のBEMSと連携しており、処理水の作成状況や異常時の警報も集中管理ができています。プラントに異常が発生した場合も1次対応で、警備会社が駆けつけて頂いているので、安心して運用できています。

印象的な出来事や、弊社を選んでよかったという点がございましたらお聞かせください。

井水プラント設置前の井戸調査時には北風の吹き付ける寒い中、朝早くから夜遅くまで探

水の試験を時間をかけて行っていたのと、奇跡的にプラント設置日だけ強風が吹かず、無事にクレーンでの設置作業ができたのが印象的でした。

今後弊社に期待すること、ご要望をお聞かせください。

今後長い付き合いになると思いますので、ゼオライトの豊富な知識を活かして頂き、プラントの安定稼働のため、提案やアドバイスを頂ければ助かります。今回のプラント設置を行うにあたり水に対して大変勉強させて頂きました。ありがとうございます。



ごあいさつ

ゼオライトにとって2021年は大きく変革した年でした。創業者であり名誉会長の河村恭輔が他界し、第二創業期としてゼオライトが始動しました。

社長の嶋村、専務の松井、岸田の役員3人新体制となり、創業者の河村恭輔が残した水創りの技術と人財創りの経営理念を受け継いで努力しています。お客様にも河村恭輔の生前同様、変わらず当社の製品サービスを信頼していただき、本当に有り難いことです。

会長の私としては、技術革新、製品づくりへのあくなき追求をする河村恭輔のもと、お客様やお取引様、従業員、ゼオライトの製品サービスなど、すべてにおきまして、愛を注いでいくという強い想いで歩んでまいりました。その精神は、今で

代表取締役会長 河村 勝美

も変わらず、お客様からいただくお手紙に、その想いが多少なりとも伝わってくださっていることを確信しております。

経営と愛の狭間に置かれ、厳しい選択をしなければならぬ時もありましたが、この愛という精神を貫いてよかったと感じることの多い一年でもありました。そのひとつとして、従業員も愛を持ってお客様に接している姿やお客様からの声を特に聞く一年でもありました。私どもが経営理念として掲げております「良い水創り人財創り」という強い想いは、現在働いている約100人の従業員が確実に引き継いでおります。

どうぞ、2022年も、お客様に良質な水と愛をお届けします。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

2022年度新入社員 内定式を行いました

2021年10月1日に内定式を行い、内定者5名及び当社役員、幹部社員が出席しました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、時間を短縮して執り行いました。

内定式では社長の嶋村謙志より内定証の交付のあと、内定者一人一人に自己紹介をしていただきました。内定者5名は少し緊張しているようでしたが、自分の想いをしっかりと言葉にして挨拶をしてくれました。

内定式後に行われた懇親会では、会が進むにつれだんだんと緊張もほぐれ、

趣味の話やプライベートの話等で経営陣や他の内定者との交流を楽しむなど、短い時間でしたが、和やかな懇親会となりました。

内定者の方につきましては残り、学生生活を有意義に過ごしていただき、来春、内定者5名の皆さんが揃って入社し、活躍してくれることを社員一同楽しみにしております。



Seasons 季節を愉しむ



ポインセチア

【花言葉】祝福する 聖夜 幸運を祈る

冬の花の代表であることはご存知の方も多はずです。それと同時に、クリスマスの花として知られるポインセチア。キリストの流した血の色と、ベツレヘムの星を連想する形状、さらに、「聖夜」という花言葉を持つことが、クリスマスの花として親しまれるようになった由来だと言われています。その存在が目に見えるだけで、季節を痛感し人の心を躍らせる。花の持つ力の偉大さはそこにありと気付かせてくれる花でもあります。

写真・文 / TRONC (トロンク)
福岡市南区那の川2-4-32 HF平尾レジデンス1F
TEL/FAX 092-791-5571 MAIL info@tronc-f.com
Instagram @troncflower